

出力2万kWの発電所を建設

JFEエンジニアリング

三重県で2016年7月稼働開始

の内訳は、▽JFEエンジニアリング(35・2%)▽日本政策投資銀行(25%)▽日本通運

JFEエンジニアリングは、津製作所構内(津市)に木質バイオマス発電所(出力2万kW)を立ち上げることを明らかにした。同社は今年2月4日、日本政策投資銀行や他4社と共同で「グリーンエナジー津」を設立し、バイオマス燃料による発電事業を計画。発電所は今年11月から着工に入り、2016年7月の稼働開始を予定している。

同社は、グリーンエナジー津からプラントの設計・調達・建設や20年間の包括運営を受

託する。得意とする循環流動層ボイラーの建設・運営実績などが評価され、成立した。燃料については、バイオマス産業都市構想を掲げる津市の協力のもと、地域資源である未利用間伐材等を活用する。未利用材を5万t、PKS(パームやし殻)を10万t投入する計画だが、将来的には「未利用材とPKSの投入量を半々にする」という。

発電所の建設・運営資金は約90億円で、百五銀行や三井住友信託銀行、日本政策投資銀行から融資を受ける。売電先は、JFEエンジニアリングが100%出資する新電力会社「アーバンエナジー」などを想定しており、年間の売電売上目標は36億円とした。



「グリーンエナジー津」発電プラント完成予想図

グリーンエナジー津の資本金は1億円(設立時3.520万円)。出資者

(14・9%)▽阪和興業(10%)▽大中物産(10%)▽岡谷鋼機(4・9%)——となっている。